

目次

(1) 新設組織の概要

- ① 新設組織の概要 ……p. 2
- ② 新設組織の特色 ……p. 2

(2) 人材需要の社会的な動向等

- ① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析 ……p. 2-3
- ② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析 ……p. 3
- ③ 新設組織の主な学生募集地域 ……p. 3
- ④ 既設組織の定員充足の状況 ……p. 3-4

(3) 学生の確保の見通し

- ① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果
 - ア 既設組織における取組とその目標 ……p. 4-7

(4) 新設組織の定員設定の理由 ……p. 7-8

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 新設組織の概要

① 新設組織の概要

新設組織	入学定員	編入学 定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
山梨大学医学部 医学科	125	0	750	山梨県中央市下河東 1110

② 新設組織の特色

医学科では、医学部の「深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行う」という理念・目的を実現するためのカリキュラムを策定しており、全学的に定められた教養と汎用能力のコンピテンシー（能力・資質）、文部科学省などで作成された医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠して独自に定められ、医学科の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、専門知識・スキルのすべてを確実に身につけ、それらを統合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」を獲得するように編成されている。また、医学科では教育プログラムを国際的基準に合致したものとする取り組みを行っており、2018年度に日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を受審し、世界医学教育連盟（WFME）の国際基準に適合しているとして2026年9月までの認証を取得している。

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

令和4年度の山梨県における人口10万人当たりの医師総数は、全国平均274.7人に対し、267.8人（資料1）と下回っており、平成20年度の211.8人（全国平均224.5人）（資料1）からは増加しているものの、依然医師不足は解消されていない。

山梨県は、県面積の約8割が山間地域という特性があり、地域別の人口10万人当たりの医師総数の内訳は、県都市部の中北地区における332.2人に対し、峡東地区では223.4人、富士・東部地区では163.8人、峡南地区では133.3人と大きな開きがあり、地域差が最大2.5倍と地域偏在が顕著となっている。（資料1）

このような状況により、山梨県から県内医療に従事する医師の養成について強い要望（資料2）があり、今後も医師不足と地域偏在の解消に向け、

取り組みを推進していく必要がある。

② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

文部科学省による学校基本調査では、高校卒業者数、大学等進学者数の変化は、表 1-1 及び表 1-2 のとおりとなっており、全国では高校卒業者数及び大学等進学者数は減少しているが、大学等進学率は増加している。山梨県も、高校卒業者数及び大学等進学者数は減少しているものの、大学等進学率は全国平均を上回っている。

本学医学部医学科の入学志願状況は、一般選抜は表 2-1、地域枠は表 2-2 のとおりで、一般選抜、地域枠とも安定して多くの受験者を確保している。

③ 新設組織の主な学生募集地域

医学科地域枠の定員増については、山梨県及び県内高等学校長からの要望（資料 2、資料 3）が強いため、臨時定員増の 20 名は、全員山梨県内に設置されている高等学校からの推薦に基づき、学校推薦型選抜Ⅱにより選抜を行う。

④ 既設組織の定員充足の状況

医学部医学科における定員充足状況は、過去 5 年間に於いて 100%を維持している。（資料 4）

< 表 1-1 進路別卒業者数（全国） >

年度	高校卒業者数	大学等進学者数	大学等進学率
H20	1,088,170 人	574,990 人	52.8%
R 1	1,037,284 人	578,341 人	55.8%
R 2	1,012,007 人	580,550 人	57.3%
R 3	990,230 人	588,919 人	59.5%
R 4	962,009 人	584,465 人	60.8%

< 表 1-2 進路別卒業者数（山梨県） >

年度	高校卒業者数	大学等進学者数	大学等進学率
H20	8,755 人	5,045 人	57.6%
R 1	7,888 人	4,497 人	57.0%
R 2	7,727 人	4,536 人	58.7%
R 3	7,541 人	4,513 人	59.8%
R 4	7,268 人	4,449 人	61.2%

<表 2-1 山梨大学医学部医学科入学志願状況（一般選抜）>

年 度	種別と定員	志願 者数	志願 倍率	第 1 段階選 抜合格者	受験 者数	合格 者数	入学 者数	定員 超過率
H30	一般選抜(90)	1,256	14.0	900	338	104	92	1.02
R 1	一般選抜(90)	1,294	14.4	901	343	110	90	1.00
R 2	一般選抜(90)	1,107	12.3	900	309	108	90	1.00
R 3	一般選抜(90)	1,057	11.7	900	368	106	90	1.00
R 4	一般選抜(90)	1,621	18.0	904	261	106	90	1.00
R 5	一般選抜(90)	1,333	14.8	903	341	103	90	1.00
R 6	一般選抜(90)	1,764	19.6	909	295	109	90	1.00

注) 1. 志願倍率は、小数点第2位を四捨五入。
2. 定員超過率は、小数点第3位を四捨五入。

<表 2-2 山梨大学医学部医学科入学志願状況（地域枠）>

年 度	種別と定員	志願 者数	志願 倍率	第 1 段階選 抜合格者	受験 者数	合格 者数	入学 者数	定員 超過率
H30	地域枠(35 以内)	95	2.7	53	53	33	33	0.94
R 1	地域枠(35 以内)	103	2.9	53	53	35	35	1.00
R 2	地域枠(35 以内)	74	2.1	53	53	35	35	1.00
R 3	地域枠(35 以内)	68	1.9	53	53	35	35	1.00
R 4	地域枠(35 以内)	72	2.1	53	52	35	35	1.00
R 5	地域枠(35 以内)	69	2.0	53	53	35	35	1.00
R 6	地域枠(35 以内)	63	1.8	53	52	35	35	1.00

注) 1. 地域枠は、山梨県内高校出身者を対象とした入学試験。
2. 志願倍率は、小数点第2位を四捨五入。
3. 定員超過率は、小数点第3位を四捨五入。

(3) 学生の確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

次の取り組みを通じ、積極的に学生確保を行っている。

【オープンキャンパス】

進学を希望する高校生とその保護者を対象にオープンキャンパスを開催している。内容は、本学の特色の説明、模擬授業、在学生による学生生活の説明、医師・研究者としての活動など、多岐にわたっている。参加者は、進

学希望大学を決める前の高校2年生が中心となっており（表3-1）、参加者の高校所在地は山梨県内が多いが、隣県の長野県や静岡県、関東エリアからの参加者も多く見受けられる。（表3-2）

オープンキャンパスでは、平成30年度から午前と午後の2部制とし、事前申し込み定員を200人から300人に拡大したが、令和6年度は午後の方の開催とし、事前申し込み定員は250人とした。事前申し込みなしに当日直接来場する参加者も多い（表3-3）。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度～5年度は対面でのオープンキャンパスは行わず、Web配信のみで対応している。

<表3-1 オープンキャンパス申込者内訳>

単位：人

	高3年	高2年	高1年	既卒者	保護者	その他	計
H27	27	77	22	25	7	3	161
H28	29	74	16	15	14	1	149
H29	37	72	23	10	9	2	153
H30	45	101	73	28	13	2	262
R 1	40	100	64	26	21	4	255
R 6	31	47	34	10	1	3	126

注）H27 から H29 年度は、午後の部の大学説明への参加者のみ集計した。

<表3-2 オープンキャンパス申込者在籍（出身）高校所在地内訳>

単位：人

	山梨県	長野県	静岡県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県
H27	63	9	10	46	15	12	5
H28	60	9	8	42	12	9	4
H29	55	4	2	55	15	11	6
H30	110	21	16	64	17	16	4
R 1	110	16	7	60	17	11	8
R 6	56	13	6	20	7	8	5

	栃木県	群馬県	茨城県	新潟県	その他	計
H27	0	0	1	0	4	165
H28	2	5	1	0	5	157
H29	3	2	0	1	3	157
H30	1	0	3	0	10	262
R 1	3	5	5	0	13	255
R 6	1	2	1	0	7	126

<表 3-3 オープンキャンパス参加者数>

単位：人

	H27	H28	H29	H30	R 1	R 6
申 込 者	165	157	157	262	255	126
同 伴 者	97	89	88	129	131	74
参加者計	262	246	245	391	386	200

注) 参加者数は、同伴者と当日受付者を含む。

【山梨県下高校生への公開授業】

「山梨県下高校生への公開授業」は、大学の授業に触れる機会を通して学問の面白さ、様々な教育分野に触れる楽しさ、奥深さを理解してもらい、将来大学で学ぶ動機づけとなることを期待し、ブタの心臓を使用した「心臓病と心臓手術体験」などの医学部医学科に関する授業を、高校生向けに分かり易い内容で行っている。高校生が興味を抱くような講義を多数用意し、毎年7月下旬に約1週間に亘り実施している。(表4)

受講希望者が、募集定員を上回る人気のある講義も多い。

なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を見送った。

<表 4 山梨県下高校生への公開授業参加者数>

単位：人

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
授 業 数	22	—	22	26	36	33
募集定員	555	—	721	824	1,285	990
参加者数	615	—	634	788	1,015	819

注)：1. 対象は、医学部医学科の教員による公開授業。

2. 参加者数は、延べ数。

【出前講義】

「出前講義」は高大連携の一環としての全学的な事業であり、医学部医学科でも実施している。大学で学ぶ学問、研究の奥深さ、面白さを、出前講義を通じて体験することで、高校生のうちから学問・研究への意欲と興味を抱き、「学ぶ」意義を自ら見出し、大学での学びの動機づけとなることを期待している。

各年度の5月から12月の間、県内を中心とする高校からの求めに応じ、直接教員が出向いて講義を行っている。医学部医学科の実施状況は、表5のとおりである。

＜表5 出前講義実施数＞

単位：件

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
実施件数	13(3)	11(3)	12(3)	9(2)	12(4)	10(7)

注) 1. 実施件数は、延べ数。

2. () は県外高校における実施件数で、内数。

3. 令和6年度は、9月1日現在。

【山梨県内高等学校と山梨大学との入学試験等に関する情報交換会】

高等学校進路指導教員への情報発信及び意見交換を目的として、毎年8月に「山梨県内高等学校と山梨大学との入学試験等に関する情報交換会」を実施している。高等学校進路指導教員に対する貴重なアピールの機会となっており、地域枠への優秀な受験生の推薦依頼も行っている。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、普通科を設置している県内の公立高校16校、私立高校3校並びに県外の公立高校5校、私立高校1校が参加し、オンライン（Zoom）で開催した。

また、平成30年度からは、地域枠入試に受験生を推薦している高校長と医学部長、医学部入試委員会委員長等との意見交換会を開催しており、令和4年度からは進路指導担当教員の出席も求めている。大学からは医学科の現状や入試に関する説明を行い、高校長等から受験生の現状や大学に対する率直な意見が述べられることにより、地域枠入試に関する相互理解を深める機会となっている。

(4) 新設組織の定員設定の理由

本学医学部医学科の入学定員125人については、下記の理由から入学定員を十分に確保できると考えている。

文部科学省による学校基本調査では、高校卒業者数、大学等進学者数の変化は、表1-1及び表1-2のとおりとなっており、全国では高校卒業者数及び大学等進学者数は減少しているが、大学等進学率は増加している。山梨県も、高校

卒業者数及び大学等進学者数は減少しているものの、大学等進学率は全国平均を上回っている。本学医学部医学科の入学志願状況は、一般選抜は表 2-1、地域枠は表 2-2 のとおりであり、一般選抜、地域枠とも安定して多くの受験者を確保している。

以上のことから、125 人の入学定員の設定は適切であり、今後も学生の確保は問題ないとする。

医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類資料一覧

資料 1 山梨県の医師の状況

資料 2 地域枠に関する山梨県と山梨大学との打ち合わせ要旨（2024/5/20）

資料 3 山梨県内高校長との意見交換会議事要旨

資料 4 既設学科等の入学定員の充足状況（過去 5 年間）

参考資料 1 令和 5 年度学校基本調査（山梨県抜粋）

参考資料 2 令和 5 年度学校基本調査（全国抜粋）

参考資料 3

- ・別紙 1 新設組織が置かれる都道府県への入学状況
- ・別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）
- ・別紙 3 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

山梨県の医師の状況

【医師数】

(単位：人)

	H20. 12. 31	H30. 12. 31	R2. 12. 31	R4. 12. 31	増 減
全 国	286699	327210	339623	343275	56576
山 梨 県	1845	2016	2101	2148	303
中北地区	1257	1407	1481	1525	268
内 峡中	1163	1234	1377	1407	244
内 峡北	94	173	104	118	24
峡東地区	258	269	271	284	26
峡南地区	65	60	59	61	-4
富士・東部地区	265	280	290	278	13

【人口10万人対医師数】

(単位：人)

	H20. 12. 31	H30. 12. 31	R2. 12. 31	R4. 12. 31	増 減
全 国	224. 5	258. 8	269. 2	274. 7	50. 2
山 梨 県	211. 8	246. 8	259. 4	267. 8	56. 0
中北地区	265. 0	305. 6	322. 2	332. 2	67. 2
内 峡中	295. 6	337. 0	356. 2	363. 6	68. 0
内 峡北	116. 4	142. 8	142. 3	163. 7	47. 3
峡東地区	179. 5	202. 7	209. 1	223. 4	43. 9
峡南地区	107. 3	120. 9	123. 3	133. 3	26. 0
富士・東部地区	136. 5	159. 3	167. 7	163. 8	27. 3

出所：R4医師・歯科医師・薬剤師調査及びR4山梨の人口・世帯（常住人口）

地域枠に関する山梨県と山梨大学との打ち合わせ要旨

日 時 令和 6 年 5 月 20 日（月） 14 時 30 分～15 時 45 分

場 所 医学部管理棟 2 階小会議室

出席者 （山梨県医務課）清水課長、倉澤課長補佐、島田主任、櫻田主事

（山 梨 大 学）小泉医学部長、大塚医学科長、鈴木特任教授、土屋教授、
石原医学域事務部長、平 学務課長、田中係長、梶原参事

● 山梨大学医学部医学科の地域枠定員及び臨時定員増について

山梨大学から、日本の医師数の推移、医師不足に伴う臨時定員増の経緯並びに他大学及び山梨大学における医学科地域枠制度の状況、地域枠に関する国の見解等について説明があり、続いて山梨大学医学部医学科の地域枠定員及び令和 7 年度臨時定員増について、意見交換を行った。

意見交換の概要は次のとおり。

【山梨大学】

- ・ 医学科の臨時定員増についての国の施策は延長されてきたが、いずれ終了することを前提に、山梨大学医学科の地域枠定員について議論する必要がある。

しかし、医師の働き方改革等、不確定な要素が加わっているので、すぐに結論を出すのは難しい状況にある。

医学科教員の間では、現状の 35 人から減らすべきとの意見も出ている。

令和 7 年度の臨時定員枠については 5/22（水）開催の医学部教授会において審議することになるが、仮に減員となった場合、2 年前告知の対象となる受験生の不利益事項に該当することから一般選抜募集定員の 90 人は動かせないので、地域枠定員を減員せざるを得ない。

- ・ これまで、地域枠入学者の医師国家試験の成績は、一般選抜の学生より良好である。

しかし、ここ数年の入試においては、地域枠入学者の下位層の成績が著しく低下しており、それが教員の間で問題になっている。

少子化の時代に以前と同じ定員を設定することに無理があるとか、山梨県医師修学資金貸与制度による卒業後の「縛り」を強くしたことに伴う山梨大学離れではないかという意見もある。

また、多くの教員は大学のキャパシティの割に受入れ人数が多すぎるという認識を持っている。

- ・ 指導できる医師が少ない地域には研修医を派遣できないので、地域枠定員の増加が必ずしも医師の地域偏在解消につながるわけではない。

【医務課】

- ・ 山梨県においては、地域枠の人数についての議論はこれまであまり進んでおらず、全国平均を下回っている 10 万人当たりの医師数や医師の偏在が解消されるまでは、現状維持という認識でいたため、減員については今後検討していくことになるが、令和 7 年度臨時定員増については現状維持でお願いしたい。
- ・ 今後、山梨大学において地域枠定員についての議論を行う際には、地域枠定員を恒久定員内に組み込む方向で検討していただきたい。

上記意見を踏まえ、令和 7 年度医学科臨時定員増については、次のとおり取り扱うこととした。

- ① 臨時定員は、例年どおり 20 名増で要求する。

ただし、5/22（水）開催の医学部教授会の審議結果が減員となった場合は、地域枠定員 35 人から減員することとし、一般選抜枠 90 人は変更しない。

- ② 今後臨時定員増が廃止されることを踏まえ、山梨県及び山梨大学双方において地域枠定員についての検討を進めていく。

以 上

山梨県内高校長との意見交換会議事要旨

【日 時】 令和6年8月7日（水）18：30～19：45

【場 所】 シミックプラザ2階多目的室1

【出席者】 別紙出席者名簿のとおり

【議 事】

1 山梨県医師修学資金制度について

山梨県福祉保健部医務課の櫻田主事から、制度の概要、地域枠医師の義務、キャリア形成プログラム等について、配付資料に基づき説明があった。

2 山梨大学医学部医学科における医学教育の現況について

鈴木副学部長から、本学医学科のカリキュラム、地域枠の状況、地域による医師の偏在問題、医師に求められる基本的な資質・能力等について、映像資料に基づき説明があった。

3 山梨大学医学部看護学科における医学教育の現況について

谷口看護学科長から、本学看護学科のカリキュラム、大学が求める学生の基本的な資質・能力及び保健師・助産師資格試験等について、配付資料に基づき説明があった。

4 総合討議、意見交換

- ・ 冒頭、小泉医学部長から、「医学部の理念・目的、教育目標等」について説明があり、成績だけで判断するのではなく、この理念・目的を踏まえ、医師としての適性を持った生徒を推薦してほしい旨、要望があった。
- ・ ここ数年、地域枠入学者の下位層の著しい学力低下が教員の間で問題になっており、状況によっては今後地域枠の人数や、選抜方法の変更等の検討が必要になるかもしれない旨、併せて発言があった。
- ・ 山梨県内の高等学校を対象とした地域枠は、県内で活躍する医師を目指す高校生にとって、なくてはならない制度であり、今後も同規模での継続を望む。
- ・ 地域枠で合格することができなかった学生の中には、山梨大学に入学したいという強い思いはあっても、倍率が高い一般選抜後期入試しかチャンスがないのは厳しいと声もあるため、選択肢として前期入試があるとありがたい。
- ・ 地域枠入学者でも、認められた期間内であれば山梨県内にとどまる必要はないので、

本学としては地域に軸足を置きながら、世界を見つめ、世界に出ていく人材を育てていきたいと考えている。そういったことをぜひ生徒に伝えていただきたい。

また、ライフサイエンスコースという1年次から研究を始めることのできるコースがあるので、地域卒の学生も積極的に参加し、研究マインドを持った医師になってほしい。

- ・ 今回の意見交換会を通して、地域卒で合格した場合でも研究の道に進んだり、海外留学したりすることができる環境が整っていることがわかった。地域卒を目指す学生にはそのように伝えたい。
- ・ 医師・看護師にとって、知識や学力、コミュニケーション能力等はもちろん大切だが、山梨大学ではさらにプロフェッショナリズムや主体的に考える力も重視している。
- ・ 山梨県医師修学資金制度は、優秀な学生を確保するために必要な制度であることは承知しているが、教員から見ても就業年限や返還要件が少し厳しいような気がするとの発言があったが、山梨県医務課から、当面は現行の制度から変更する予定はない旨、発言があった。

以 上

令和6年度 山梨県内高等学校長等との意見交換会出席者名簿

20240807 開催

	高 校 名	出 席 者
1	山梨県立甲府第一高等学校	校 長 飯 島 清 樹
2		進路指導担当 北 村 幸 子
3	山梨県立甲府西高等学校	教 頭 大 木 賢 一
4		進路指導担当 中 島 勲
5	山梨県立甲府東高等学校	校 長 塩 沢 和 明
6		進路指導担当 内 藤 理 恵
7	山梨県立甲府南高等学校	校 長 篠 原 健
8		進路指導担当 柴 田 香 枝
9	山梨県立都留高等学校	校 長 三 枝 正 人
		進路指導担当 【欠 席】 小 俣 美 江
10	山梨県立韮崎高等学校	校 長 野 崎 哲 司
11		進路指導担当 志 村 勇 造【代 理；橋本】
12	山梨県立日川高等学校	校 長 橘 田 浩
13		進路指導担当 紺 野 英
14	山梨県立吉田高等学校	校 長 権 太 正 弘
		進路指導担当 【欠 席】 舟久保 豊
15	北杜市立甲陵高等学校	校 長 鈴 木 伸 幸
16		進路指導担当 入 山 実
17	駿台甲府高等学校	校 長 若 林 秀 則
18		進路指導担当 齋 藤 裕 一
19	富士学苑高等学校	校 長 大 森 長 彦
20		進路指導担当 小佐野 海
21	山梨英和高等学校	校 長 森 島 泰 則
22		進路指導担当 坂 井 祐三子
23	山梨学院高等学校	校 長 吉 田 正
24		進路指導担当 島 崎 幹 生
25	山梨県福祉保健部医務課	課 長 補 佐 倉 澤 理 恵
26		主 事 櫻 田 祥
27	山梨大学	医 学 部 長 小 泉 修 一
28		医 学 科 長 大 塚 稔 久
29		看護学科長 谷 口 珠 美
30		副 学 部 長 鈴 木 章 司
31		医学部入試委員会委員長代理 中 本 和 典
32		医学域事務部長 石 原 昭
33		医学域学務課長 平 洋 子

既設学科等の入学定員の充足状況（過去5年間）

【山梨大学医学部医学科入学志願状況（一般選抜）】

年度	種別と定員	志願者数	志願倍率	第1段階選抜合格者	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
R 2	一般選抜(90)	1,107	12.3	900	309	108	90	100%
R 3	一般選抜(90)	1,057	11.7	900	368	106	90	100%
R 4	一般選抜(90)	1,621	18.0	904	261	106	90	100%
R 5	一般選抜(90)	1,333	14.8	903	341	103	90	100%
R 6	一般選抜(90)	1,764	19.6	909	295	109	90	100%

注) 志願倍率は、小数点第2位を四捨五入。

【学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）】

年度	種別と定員	志願者数	志願倍率	第1段階選抜合格者	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
R 2	地域枠(35以内)	74	2.1	53	53	35	35	100%
R 3	地域枠(35以内)	68	1.9	53	53	35	35	100%
R 4	地域枠(35以内)	72	2.1	53	52	35	35	100%
R 5	地域枠(35以内)	69	2.0	53	53	35	35	100%
R 6	地域枠(35以内)	63	1.8	53	52	35	35	100%

注) 志願倍率は、小数点第2位を四捨五入。

令和 5 年度
教育統計調査結果報告

学 校 基 本 調 査

山 梨 県

42 状況別卒業生数

(単位:人)

区 分			計			公 立			私 立		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
A 大学等進学者	大学(学部)		4,086	2,309	1,777	2,706	1,411	1,295	1,380	898	482
	短期大学(本科)		335	47	288	249	35	214	86	12	74
	大学・短期大学の通信教育部		10	5	5	5	3	2	5	2	3
	大学・短期大学の別科		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高等学校専攻科		18	18	—	18	18	—	—	—	—
	特別支援学校高等部専攻科		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計		4,449	2,379	2,070	2,978	1,467	1,511	1,471	912	559
B 専修学校(専門課程)進学者			1,322	568	754	993	410	583	329	158	171
C 専修学校(一般課程)等入学者			248	141	107	184	106	78	64	35	29
D 公共職業能力開発施設等入学者			53	43	10	53	43	10	—	—	—
E 就職者等	自営業主等(a)		14	9	5	12	7	5	2	2	—
	常用労働者	無期雇用労働者(b)	1,028	643	385	894	574	320	134	69	65
		有期雇用労働者	5	1	4	5	1	4	—	—	—
		臨時労働者		15	4	11	15	4	11	—	—
上記以外の者			133	74	59	59	33	26	74	41	33
不詳・死亡の者			1	—	1	1	—	1	—	—	—
計			7,268	3,862	3,406	5,194	2,645	2,549	2,074	1,217	857
再掲	上記A,B,C,Dのうち就職してるもの(c)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者(d)		1	—	1	1	—	1	—	—	—
	就職者(a+b+c+d)		1,043	652	391	907	581	326	136	71	65

高等学校（全日制・定時制）卒業後の状況調査
281 状況別卒業生数（3-1）

区分	計	大学等 進学者 (A)
令和4年3月	990230	588919
令和5年3月	962009	584465
国立	2745	1964
公立	635942	354818
私立	323322	227683
計の内訳		
北海道	36375	18749
青森県	9804	5243
岩手県	9604	4569
宮城県	17714	9785
秋田県	6991	3324
山形県	8767	4282
福島県	14494	7265
茨城県	23287	13042
栃木県	15803	8985
群馬県	15541	8878
埼玉県	52446	33885
千葉県	45820	28642
東京都	96812	70463
神奈川県	62649	42649
新潟県	16473	8733
富山県	8308	4774
石川県	9376	5649
福井県	6667	4179
山梨県	7268	4449
長野県	16757	9095
岐阜県	16124	9681
静岡県	29624	16974
愛知県	59717	37512
三重県	14108	7724
滋賀県	11735	7231
京都府	21359	15598
大阪府	66415	44886
兵庫県	41408	27767
奈良県	10341	6672
和歌山県	7289	4158
鳥取県	4590	2389
島根県	5512	2756
岡山県	15822	9020
広島県	21634	13982
山口県	9980	4684
徳島県	5502	3279
香川県	7988	4661
愛媛県	9990	5623
高知県	5412	3031
福岡県	39195	22917
佐賀県	7140	3418
長崎県	10933	5297
熊本県	14007	6865
大分県	9143	4772
宮崎県	9129	4434
鹿児島県	13328	6187
沖縄県	13628	6307

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	東京都	37人	29.6%
2	山梨県	35人	28.0%
3	愛知県	8人	6.4%
4	埼玉県	4人	3.2%
4	神奈川県	4人	3.2%
4	静岡県	4人	3.2%
4	愛媛県	4人	3.2%
4	大阪府	4人	3.2%
5	千葉県	3人	2.4%
5	石川県	3人	2.4%
5	香川県	3人	2.4%
	全 体	125人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	山梨県	100.00%	100.00%	100.00%

※ 2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	医学（医）	100.00%	100.00%	100.00%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）

別紙 2

大学学部学科等名：山梨大学医学部医学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
学校推薦型選抜	募集人数		35人	35人	35人	35人	35人	35人
	延べ人数	志願者数	103人	74人	68人	72人	69人	77人
		受験者数	53人	53人	53人	53人	53人	53人
		合格者数	35人	35人	35人	35人	35人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	103人	74人	68人	72人	69人	77.2
		受験者数	53人	53人	53人	53人	53人	53
		合格者数	35人	35人	35人	35人	35人	35
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数		35人	35人	35人	35人	35人	35
一般選抜	募集人数		90人	90人	90人	90人	90人	90
	延べ人数	志願者数	1294人	1107人	1057人	1621人	1333人	1282.4
		受験者数	341人	309人	368人	261人	341人	324
		合格者数	90人	95人	90人	90人	90人	91
		うち追加合格者数	20人	13人	16人	16人	13人	15.6
		辞退者数	0人	5人	0人	0人	0人	1
	実人数	志願者数	1294人	1107人	1057人	1621人	1333人	1282.4
		受験者数	341人	309人	368人	261人	341人	324
		合格者数	90人	95人	90人	90人	90人	91
		うち追加合格者数	20人	13人	16人	16人	13人	15.6
		辞退者数	0人	5人	0人	0人	0人	1
	入学者数		90人	90人	90人	90人	90人	90
合計	募集人数		125人	125人	125人	125人	125人	125人
	延べ人数	志願者数	1397人	1181人	1125人	1693人	1402人	1360人
		受験者数	394人	362人	421人	314人	394人	377人
		合格者数	125人	130人	125人	125人	125人	126人
		うち追加合格者数	20人	13人	16人	16人	13人	16人
		辞退者数	0人	5人	0人	0人	0人	1人
	実人数	志願者数	1397人	1181人	1125人	1693人	1402人	1360人
		受験者数	394人	362人	421人	314人	394人	377人
		合格者数	125人	130人	125人	125人	125人	126人
		うち追加合格者数	20人	13人	16人	16人	13人	16人
		辞退者数	0人	5人	0人	0人	0人	1人
	入学者数		125人	125人	125人	125人	125人	125人

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	125人	125人	125人	125人	125人	125
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
歩留率	1.00	0.96	1.00	1.00	1.00	0.99

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)			①取組概要 オープンキャンパス（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での実施はせず、オンデマンドによる動画を配信したが、申し込み制ではなかったため、参加者数等の詳細を把握できていない） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 過去5年度（別紙2）実績から、入学者は125人と予想される。
うち受験対象者数 (b)			
うち受験者数 (c)			
うち入学者数 (d)			
（受験率 c/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	
（入学率 d/b）	#DIV/0!	#DIV/0!	